

学校図書館支援センター通信 NO.108 2月号



平成28年度 市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）

第3回 学校図書館研修会・ネットワーク会議

1月20日（金）に、教育センターにおいて、平成28年度文部科学省委託・市川市学校図書館支援センター事業「学校司書の資格・養成の在り方や資質能力の向上等に関する調査研究」の研究協力校である第四中学校の実践発表及び、教育センターからの研究経過報告が行われました。

第四中学校からは「各教科・領域のねらいを達成するための学校図書館の活用と、具体的な調べ学習の指導方法の研究」というテーマで発表がありました。具体的な取組として、全校読書、各教科・領域における調べ学習の年間計画の作成、学校図書館活用の校内全体研修会を行い、学校として共通理解を図りながら授業実践をされました。公開授業研究会では、1年生の理科 物質のすがた（有機物と無機物「プラスチックの分類」）の授業で、知識を学ぶための調べ学習ではなく、実験方法を調べるための調べ学習を行ったことで、生徒の調べ学習に対する意欲が高まり、主体的・協働的に実験を行うことで深い学びにつながったとの報告がありました。実践発表の中では、授業後の生徒の感想、授業の様子や生徒のワークシートの写真なども紹介されており、参考となる内容でした。

今年度、研究協力校3校の先生方が学校図書館活用を充実させるために、3つのことを大切にされていました。

- ①学校図書館部会や研究部会の話し合いを充実すること
- ②どのような本をどのように活用するか、具体的な学習の流れを学校司書に伝えること
- ③学校図書館活用についての校内研修会を実施すること

ぜひ、研究協力校の取組を参考に、各学校の図書館部会で話し合いながら、課題の発見と解決に向けて主体的・協働的な学びにつながる、学校図書館を活用した授業を計画的に積み重ねていただきたいと思います。

塩焼幼稚園 出張おはなし会 2月15日（水）



塩焼幼稚園では、毎月、誕生日会を開いて、みんなでその月に生まれた友達を祝っています。2月の誕生日会では、25人の友達を祝いました。今月の歌を元気よく歌い、園長先生の話、2月生まれの友達の自己紹介、誕生日の友達の出し物、教育実習生の出し物に続き、最後に、中央図書館の司書の方々の「おはなし会」が行われました。大型絵本「じゃんけんぽん」の読み聞かせが始まると、園児は目を輝かせ、読み聞かせに合わせて、一緒にじゃんけんをしていました。大型紙芝居「みんなでぽん」は、みんなで手をたたくと何かが出てくるワクワクする話で、出てきたロボットやおばけに笑顔になり、本の世界を楽しんでいました。

今年度、3学期からの年少組絵本貸し出しの際、中央図書館から学級文庫を120冊借りたことにより、魅力的な本が増え、読書好きの園児が育ってきています。



図書館の窓から ～ひろげよう！図書館の輪・リレー執筆～

第四中ブロック（第四中、中山小、若宮小）では、昨年の12月に、小中連携活動の一環として図書委員による交流を行いました。委員会活動の時間に、第四中の図書委員が2班に分かれて、各小学校を訪問しました。そして、班ごとに本の紹介と委員会活動について話し合いました。図書委員の児童生徒からは、「紹介してくれた本を読みたい」「中学生は本の紹介が上手だった」「上手に発表できた」などの感想が聞かれ、短い時間でしたが、有意義な時間を過ごしたことがうかがえました。

これからも小中連携を通して、図書委員会の活動が活発になることを願います。

（市川市立若宮小学校 学校司書 飯塚 ちよ子）



小中連携活動
図書委員会
交流の様子



信篤小学校 学校図書館活用研修会 1月26日（木）

信篤小学校で、学校図書館アドバイザーの小林路子先生を講師にお招きして、学校図書館活用についての校内研修会が行われました。調べ学習の指導では、課題設定が重要であり、子供たちが自分のテーマを決める前に、関連した図書を読んで、ウェビング（※）をして情報を収集し、その中で不思議に思うことや興味がわいたことを疑問文で表現することで、テーマが焦点化されることを教えていただきました。

また、資料がないものは調べることができないため、最初に図書などからの情報があれば、テーマ決めも調べることも時間をかけずに進めることができるとおっしゃっていました。

※1つのキーワードから、思いつく言葉を書き出して、つないでいく手法。

<図書館活用ポイント>

- (1) 図書館活用は目的ではなく、手段である。
教科や行事などの「ねらい」を達成するために学校図書館活用を取り入れる。
- (2) 図書を使って調べる学習は、短時間に設定する。2時間程度で調べ終わるように時間を制限する。（学習のねらいによる）
- (3) 調べる学習には、短時間でよいので、グループで話し合う時間を必ず設ける。
個の学習から全体の学習へ広げることで力がつく。
- (4) 発表会と図書館活用は違う学習である。
- (5) 学校司書の力を借りて、授業を構想する。
- (6) 調べ方のスキルを身につける等、基礎基本の積み重ねが重要である。



『学校図書館支援センター通信』は、市川市教育センターホームページでもご覧いただけます。
市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）
〒272-0015 千葉県市川市曳高1-1-4
TEL 047-320-3335 FAX 047-320-3352
<http://www.ichikawa-school.ed.jp/index.html>

